

ヨハネの福音書 第5章 39節

「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。」

あなたがた、と呼ばれている者たちの関心ごとは永遠のいのちである。誰もが願うことである。しかし、実際永遠のいのちを求める者はほとんどいないのではないだろうか。求める前に、永遠のいのちなど求めてどうなるものでもない、と考えることさえ放棄しているのではないだろうか。求めて、どうにもならないと決め切っているのではないだろうか。それからすると、あなたがた、と言われている者たちは無謀にも永遠のいのちを求めている。求められると考えている。

求めることを諦め、考えることさえ放棄する者たちより永遠のいのちに近い。ただ、彼らの求め方に問題がある。彼らは聖書の中に永遠のいのちがあると思っている。その聖書を懸命に調べている。それ自体は良いが、求め方にズレがある。聖書に向かう姿勢に難点がある。

聖書は、わたし、イエス・キリストについて証言するもので、わたし、と不可分ではあるが、わたし、本人ではない。聖書は、わたし、に出会うための道であり、地図と言ってよいかもしれない。永遠のいのちは道や地図にあるのではなく、わたしに。

2025年6月19日